進路だより　第 10 号

令和５年２月 16 日（木）

北宇和高等学校

　本校の３年生もぞくぞくと受験を終了し、それぞれの結果を見つめて次のステップに進んでいます。２年生の皆さんも来年はあなた達の番です。進学希望者は早い人で６月からエントリーが始まる学校もあります。就職希望者も７月には希望先を決定します。「光陰矢のごとし」と言う通り、時間はあっという間に過ぎていきます。１年生の皆さんも、早めの対策を心がけましょう。以下、それぞれの進路に関する注意事項、受験時期等を掲載していますので、参考にしてください。

〇就職

毎月行われる漢字テストや公務員模試、就職模試に対する対策をしっかり行ってから受け、終わってからもしっかり復習をするようにしましょう。時事問題を調べておくことも大切です。こうした積み重ねが一番の試験対策になります。また、７月１日から求人票の受付が開始します。しっかり他社と比較して、企業研究を行い、保護者、担任ともよく相談したうえ、自分に合った企業を選択するようにしましょう。

〇専門学校

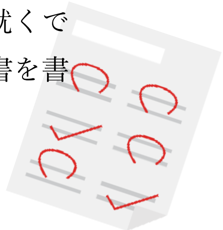
各校指定校推薦や作業療法、理学療法、歯科衛生士の専門学校の一般入試は概ね面接のみですが、国・数・英がある場合もあるので要確認。
美容学校は作文もあり。看護学校は入試方法、学校によって内容が違うため、要確認。早めに小論文の準備をしておきましょう。総合型選抜、学校推薦型選抜など、選考方法もたくさんありますので、保護者、担任と確認をしてください。

〇四年制大学

入試の種類は大きく総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜に分かれます。総合型選抜のエントリーは９月頃から、学校推薦型選抜のエントリーは 10 月頃から行われますので、余裕を持って準備することができるよう、９月初めまでには入試の種類を確認し、自分に合った受験方法、受験科目、内容、出願基準等を確認し、ご家族とも相談したうえで念入りに準備をしておきましょう。国公立大学の入試は、１月に行われる大学入学共通テストを第一関門とします。このテストの得点に応じて出願先を決定し、その後、各大学が課す２次試験の結果と併せて合否判定が出されます。受験科目をしっかり確認し、対策をしましょう。また、大学入学共通テストで獲得した点数のみで出願できる私立大学もありますので、よく確認をしてください。
※Ⅰ型、生産食品科から大学を受験する場合は、必ず総合型推薦、資格利用制度、もしくはスポーツや文化部での活動を生かすことのできる入試方法を選択しましょう。

📚就職・進学ともに

・調査書は必ず評価対象になるので、成績をあげる努力や学校内外の活動を積極的にしておくことが大切。
・本校では商業関係の検定をはじめ、漢字検定や英語検定、農業関係の検定を取得できる機会がたくさんあります。取得した資格を利用した大学入試制度での合格を手に入れた３年生もいます。また、就職した際の初任給にも違いが出てきます。１年生のうちからたくさんの資格を取得しておきましょう！
・面接の際には志望理由書、自己推薦書に書いた内容から質問されることが多いです。それに備えて面接で聞いてほしいことや進学先のアドミッションポリシー、自分が将来就くであろう職業に関するある程度の知識を取り入れ、理解した上で志望理由書、自己推薦書を書きましょう。同時進行で面接ノートを作成していくと、面接の準備にもなります。



「募集要項」「過去問題」「出願」

志望校や気になる学校の募集要項を取り寄せ、受験科目や日程、費用など、他校と比較しながらしっかり調べておきましょう。

また、「過去問題」を探し、できる限り情報を集めて、早めの対策を取りましょう。専門学校は紙媒体で出願する場合がほとんどですが、大学はネット出願がほとんどになっています。募集要項についても同様にパソコンで印刷して確認する学校がほとんどになっています。

「面接ノート」

受験直前になって「自分の良い所が見つからない。」「世間で何が起きていたか気にしていなかった。もっと早く新聞を読んで考える習慣を身に付けておけばよかった…」などという声を聞きます。面接ノートを早めに作成し、必要な情報を収集、まとめていきましょう。

「普段の生活、意識」

学力や人前で話す力、礼儀等、一朝一夕では身に付きません。普段の生活から身に付けることを心がけましょう。

「自主性、協力」

進路先決定、受験方法、志望理由書の作成も先生に促されてするのではなく、自分から進んで行いましょう。
最後の一人が合格するまでクラス全員が受験生だという意識を持ち、面接練習等、お互いが協力しあうことで切磋琢磨し合いながら受験を乗り越えていきましょう！